

フェンシング競技における新型コロナウイルス感染予防のガイドライン

日本フェンシング協会 (FJE) 医学委員会、強化本部

2020年9月29日

FJEでは、9/7に「第73回全日本フェンシング選手権大会におけるCOVID-19対策のガイドライン」を発表した。飛沫飛散、濃厚接触の独自の調査、一般的なCOVID-19感染予防策に基づき、今回は地域での活動再開の指標に、試合時、練習時のガイドラインを作成した。

選手	コーチ
試合	<ul style="list-style-type: none"><li>・飛沫ガードを利用する</li><li>・接触感染予防</li></ul>
練習	<ul style="list-style-type: none"><li>・飛沫ガードを利用する</li><li>・接触感染予防</li></ul>

(1) 発声に気を付けるとは、特に対面する相手に対して、近距離でのことである。

(2) 練習では、長時間となるため、発声をコントロールできない場合は濃厚接触となる可能性がある。

※飛沫ガードとは、フェンシングマスク内に装着するアクリル板シールド、あるいは、フェンシングマスクを装着していない際の通常のマスクのことである。

※フェンシングマスク内に装着する飛沫ガードについては、熱中症予防、曇りによるパフォーマンス低下の予防の観点から、フェンシングマスクの顎位置から上に15cm程度の高さで十分に有用性が期待できる。

・接触感染予防とは

3密を避ける、手指消毒などの通常の感染予防に加えて、以下を励行する。

- ・ユニフォーム、ジャケット、グローブで顔をぬぐわない。
- ・練習、試合後に手洗いでだけでなく顔を洗う。
- ・道具の清拭を行う。
- ・靴裏の消毒を行う。
- ・ピストの消毒は練習前後の2回、3時間程度を目安に消毒を行う。